

シガニー ウィーバー

ホリー ハンター

邪魔な女がふたりいる。



かつて全米を震撼させたあの異常犯罪が
「コピー」されている。
史上最悪の連続殺人犯に立ち向かったのは、
犯罪心理分析医と、女性刑事だった……。

誰の手口で私を殺すの。

コピーキャット

ダーモット マルロニー AND ハリー コニック, Jr.

リージェンシー エンタープライズ 現映 アーノンミルチャンプロダクション ジョンアミエル 作監 シガニーウィーバー ホリーハンター "COPYCAT"

ダーモットマルロニー ウィリアムマクナマラ ウィルパットン ジョン ロスマン JEフリーマンANDハリーコニックJr.

キャストインタビリー ホブキンス クリーバーデン 編集アランハイムACE ジムクラーク プロダクションデザイナージムクレイ 撮影ラズローコバックス, ASC 音楽クリストファーヤング

共同プロデューサージョセフM. カラッチオーロ, Jr. エグゼクティブプロデューサーマイケルネイザンソン ジョンフィードラー 脚本アンビダーマンANDデビッドマドセン 製作アーノンミルチャン マークターロフ 監督ジョンアミエル

パレオゼンジョン 新編文庫刊
オリジナルサウンドトラック BMGビクター

NAVIGATION

DOLBY STEREO
DIGITAL

配給: 日本ヘラルド映画 HERALD

ノンストップのスリル、恐怖、サスペンス。 この映画を観たら「羊たちの沈黙」がおとぎ話のように思えてくる。

—— ボニー・チャーチル(ナショナル・ニュース・シンジケート)

あの衝撃から4年。遂に「羊たちの沈黙」を超える話題騒然のサイコ・スリラーが完成した。タイトルの“コピーキャット”とは、何かをマネすること、マネする人のことを指す。

この映画の新しさ、怖さは、実際に起きた連続猟奇殺人事件をマネた手口で殺しが行われていくところ。かつてアメリカ全土、いや世界中を震撼させた超有名なサイコ・キラーたち(下記参照)が、スクリーンによみがえり、サスペンスを解く重要なキーポイントになっていくのだ。そして最大の見せ場となるどんでん返しの衝撃ラストシーン。ここで観る者



の緊張、恐怖はピークに達するにちがいない!
主演は、「エイリアン」シリーズのシガニー・ウィーバーと、「ピアノ・レッスン」でアカデミー主演女優賞を受賞したホリー・ハンター。この二人の実力派女優の共演に加え、ジャズ・シンガーの若手最高峰として2度のグラミー賞に輝くハリ・コニック, Jr.の怪演ぶりも見もの。監督は「ジャック・サマースピー」のジョン・アミエル。製作は「プリティ・ウーマン」「JFK」などの世界的ヒット作を手掛けるアーノン・ミルチャン。最高のスタッフ、キャストで贈る待望のサイコ・スリラー、いよいよ公開!

これは映画なのだ、と言いつけても 最初から最後までものすごく怖かった。

—— 中村江里子さん(フジテレビ・アナウンサー)



コピーキャット

リーゼンシー エンタープライズ提供
アーノン・ミルチャン プロダクション

1995年/アメリカ映画/カラー作品/ドルビー・デジタル
パナビジョン/シネマ・スコープ/字幕:戸田奈津子
上映時間2時間4分/ノベライゼーション:新潮文庫刊
サントラ盤:BMGビクター/配給:日本ヘラルド映画

連続殺人犯の犯罪心理分析医、ヘレン(シガニー・ウィーバー)は、一年前に担当した精神異常者のダリル(ハリ・コニック, Jr.)に命を狙われて以来、アゴラフォビアとなり、ロフトに閉じこもって生活している。そんな折、サンフランシスコで、実際に起きた殺人事件の手口を“コピー”した連続猟奇殺人事件が発生。早速

捜査に乗り出した二人のスペシャリスト、女刑事のモナハン(ホリー・ハンター)とヘレンは、凶悪かつ天才的なサイコ・キラーを追い詰めていくうちに、血も凍るような驚くべき事実を発見する。そしてすべての謎が解き明かされようとしたその時、彼女たちに魔の手が迫る…。果たして犯人は誰なのか?そしてその狙いは?



FBIで連続殺人犯を追った20年間の集大成を覗いているような映画だった。

—— ロバート・K・レスラー氏「FBI心理分析官」著者

あつと言わせるどんでん返し!! 追う者、追われる者の心理描写がじわじわと我々をおびやかしてくる。

—— ダニエル・キイス氏「24人のヒリー・ミガン」著者

“コピーキャット”にコピーされた実在の連続殺人鬼たち——。

◆アルバート・デサルヴォ (ボストン絞殺魔)

1962年から64年にかけて被害者の首を締め、性的に虐待し、殺害するという連続猟奇殺人事件がボストンで発生。被害者は19才から85才の女性。64年逮捕、終身刑となるが、73年、服役中に獄中で心臓を刺殺され、死体が発見。謎の死を遂げる。

◆ピアンキとウォーノ (ヒルサイド絞殺魔)

1977年から78年にかけて、10人の若い女性の全裸死体が発見される。犯人は従兄同志の二人の男性、残忍で支配度の高いウォーノと彼をヒーローとして崇拜する、16才下の意志薄弱なピアンキ。二人とも終身刑で現在も服役中。

◆ディヴィッド・バーコウイツ (サムの子)

1975年、当時24才だった彼はサムという年齢6000才の悪魔の超自然的な声に命じられて次々と長髪の女性を殺害。1年半にわたりニューヨークを恐怖のどん底に追込んだ。精神異常とは認められず、365年の刑を言い渡され現在も服役中。

◆ジェフリー・ダーマー (ミルウォーキーの食人鬼)

25年に渡り、少なくとも17人の黒人やヒスパニック系の若者を絞殺した後、死体をバラバラに切り裂いて食べていた。1991年アパート自室で逮捕。94年、刑務所に服役中、黒人の囚人仲間と襲われ死亡。

◆テッド・バンディ (レディキラー)

1974年から78年まで、標的になった女性は数知れず、チャタリングで聡明、真ん中分けの長髪女性ばかりを誘拐し、強姦し、叩きのめし、絞殺。89年、電気椅子にて死刑に処され、42才の生涯を閉じた。

3月16日(土)より [衝撃]3ロードショー!

★前売鑑賞券絶賛発売中!! ●一般1,500円 ●学生1,300円 ●ペア(お2人で劇場窓口のみ)2,800円

有楽町・マリオン9F

日劇プラザ

03(3574)1131

渋谷道玄坂・109前

渋谷シネタワー

03(5489)4210